

## 2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東  
コード番号 6156 URL <https://www.a-one-seimitsu.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 哲也  
問合せ先責任者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 哲也 (TEL) 042-363-1039  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年6月期第2四半期の業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	809	△9.7	107	△38.1	114	△34.9	78	△34.8
2023年6月期第2四半期	895	△4.7	173	△30.9	175	△32.1	119	△32.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
2024年6月期第2四半期	円 銭 15.59		円 銭 —					
2023年6月期第2四半期	23.93		—					

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	8,847	8,057	91.1
2023年6月期	9,206	8,431	91.6

（参考）自己資本 2024年6月期第2四半期 8,057百万円 2023年6月期 8,431百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		0.00	—	100.00	100.00
2024年6月期		0.00			
2024年6月期(予想)			—	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,850	5.4	280	1.6	287	1.9	198	3.2	39.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期2Q	5,300,000株	2023年6月期	6,000,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年6月期2Q	279,472株	2023年6月期	994,460株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年6月期2Q	5,011,486株	2023年6月期2Q	5,007,757株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期貸借対照表関係)	8
(四半期損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的なインフレ率の上昇と政策金利の引き上げも一服して、世界情勢の不安要因はあるものの緩やかな回復傾向となりました。

世界の景気は、長引くロシアのウクライナ侵攻やイスラエルの紛争、中東、北朝鮮、中国と台湾の関係など政情不安や、世界的なインフレを抑制するために各国の金利上昇で欧州、中国など低迷しています。アメリカやインドなど景気好調を維持している国はありますが、総じて経済情勢は悪化しています。

日本国内では、新型コロナが落ち着いて経済活動が回復してきてサービス業中心に回復傾向にあります。個人消費も戻ってきて、中国を除く海外からのインバウンド需要も回復して消費活動を下支えています。製造業では、部品欠品で生産を抑制していた自動車生産が回復し増産となりました。工作機械は中国向けが減少していますが、北米は好調で緩やかながら増加し、建機も鉱山向けなど含めて増加しています。医療分野も一定の需要はあり、堅調に推移しています。一方で半導体生産は、データセンター、スマートフォン、パソコンの需要一巡により一気に減少して、特にメモリーを中心に一昨年秋から低迷して在庫調整に入っています。電子部品も半導体需要に連動して減少傾向となっています。企業の設備投資は、自動化や省力化などが一巡して落ち着きました。設備投資については、自動車の自動運転やEV車の普及、AIと製造現場の融合、様々な生産活動での情報データ連携など半導体需要は今後増大することが予想され、半導体製造装置や関連した電子部品、新たな部品加工用設備などは増加してくると思われれます。

このような状況のなかコレットチェック部門では、半導体や電子部品、設備部品などが減少して国内の量産部品加工が減少したことなどを受け10月はここ3年ほどの間で最も少ない受注となり、11、12月はやや戻しました。

この結果、当セグメントの第2四半期累計期間の売上高は562,264千円（前年同期比8.6%減）、セグメント利益は227,076千円（前年同期比16.5%減）となりました。

切削工具部門では、自動車部品加工を除く幅広い業種で企業の機械稼働率が低下していることを受けて、当社の受注も減少しました。前年同期比で減少した水準で横ばいとなりました。

別注切削工具の製作・再研磨は一定の需要はありましたが、製造業全体の加工量が減少したことを受けて減少となりました。売上高は71,880千円（前年同期比6.8%減）となりました。

市販切削工具の再研磨は、自動車生産を除く幅広い業種の量産部品の単品加工の機械稼働率が低下したことを受けて減少しました。売上高は169,025千円（前年同期比13.4%減）となりました。

この結果、当セグメントの第2四半期累計期間の売上高は240,905千円（前年同期比11.5%減）、セグメント利益は38,874千円（前年同期比13.5%減）となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤で加工する量産部品が減少して、当社の受注も減少しました。

この結果、当セグメントの第2四半期累計期間の売上高は5,832千円（前年同期比28.2%減）、セグメント損失は9,072千円（前年同期は1,364千円の利益）となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は809,002千円（前年同期比9.7%減）、営業利益は107,581千円（前年同期比38.1%減）、経常利益は114,127千円（前年同期比34.9%減）、四半期純利益は78,104千円（前年同期比34.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、6,691,219千円（前事業年度末は7,538,455千円）となり847,236千円の減少となりました。これは、前払費用が15,154千円、仕掛品が13,966千円増加しましたが、現金及び預金が869,139千円、受取手形及び売掛金が16,694千円、原材料が574千円減少したこと等によるものであります。

また、当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、2,156,221千円（前事業年度末は1,668,136千円）となり488,085千円の増加となりました。これは、長期前払費用が39,660千円、機械装置及び運搬具が31,982千円、建物及び構築物が15,020千円減少しましたが、投資有価証券が527,042千円、有形固定資産のその他が32,012千円、繰延税金資産が14,303千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における総資産は、8,847,441千円（前事業年度末は9,206,592千円）となりました。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、231,849千円(前事業年度末は201,502千円)となり30,347千円の増加となりました。これは、役員賞与引当金が4,100千円減少しましたが、その他が13,530千円、未払金が12,424千円、未払法人税等が8,791千円増加したこと等によるものであります。

また、当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、558,380千円(前事業年度末は573,977千円)となり15,597千円の減少となりました。これは、その他が125,600千円増加しましたが、役員退職慰労引当金が137,440千円、退職給付引当金が3,757千円減少したことによるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、790,230千円(前事業年度末は775,480千円)となりました。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、8,057,211千円(前事業年度末は8,431,111千円)となり373,900千円の減少となりました。これは、増加要因として自己株式の減少が497,716千円、その他有価証券評価差額金の増加が18,902千円ありましたが、利益剰余金が765,897千円、資本剰余金が124,623千円減少したことによるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度と比べ268,935千円減少し、706,753千円となりました。なお、当第2四半期累計期間末におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは、183,296千円の増加(前年同四半期は217,615千円の増加)となりました。これは、役員退職慰労引当金の増減額が137,440千円、法人税等の支払額が49,273千円、未払金の増減額が15,572千円、棚卸資産の増減額が13,497千円ありましたが、長期未払金の増減額が139,670千円、税引前四半期純利益が113,224千円、減価償却費が73,175千円、株式報酬費用が59,201千円、売上債権の増減額が16,694千円あったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における投資活動によるキャッシュ・フローは、47,539千円の増加(前年同四半期は14,747千円の減少)となりました。これは、投資有価証券の取得による支出が500,000千円、有形固定資産の取得による支出が49,715千円ありましたが、定期預金の増減額が600,203千円あったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における財務活動によるキャッシュ・フローは、499,771千円の減少(前年同四半期は501,142千円の減少)となりました。これは、配当金の支払額が499,295千円、リース債務の返済による支出が452千円あったこと等によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、2023年8月10日発表の業績予想どおりとなる見込みであります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,814,158	5,945,019
受取手形及び売掛金	327,118	310,424
製品	3,126	3,232
原材料	42,332	41,757
仕掛品	255,511	269,477
前払費用	94,966	110,120
その他	1,253	11,188
貸倒引当金	△10	0
流動資産合計	7,538,455	6,691,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	422,911	407,891
機械装置及び運搬具(純額)	428,567	396,584
土地	333,534	333,534
その他(純額)	11,135	43,148
有形固定資産合計	1,196,149	1,181,159
無形固定資産	2,945	4,384
投資その他の資産		
投資有価証券	218,888	745,931
長期前払費用	42,470	2,809
繰延税金資産	207,547	221,850
その他	675	627
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	469,041	970,678
固定資産合計	1,668,136	2,156,221
資産合計	9,206,592	8,847,441
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,497	15,197
未払金	84,612	97,037
未払法人税等	56,095	64,887
役員賞与引当金	6,900	2,800
その他	38,397	51,927
流動負債合計	201,502	231,849
固定負債		
退職給付引当金	420,016	416,258
役員退職慰労引当金	137,440	-
その他	16,521	142,121
固定負債合計	573,977	558,380
負債合計	775,480	790,230

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	481,250	356,627
利益剰余金	8,258,743	7,492,846
自己株式	△692,283	△194,566
株主資本合計	8,340,210	7,947,406
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90,901	109,804
評価・換算差額等合計	90,901	109,804
純資産合計	8,431,111	8,057,211
負債純資産合計	9,206,592	8,847,441

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	895,550	809,002
売上原価	581,706	552,123
売上総利益	313,843	256,878
販売費及び一般管理費	139,917	149,297
営業利益	173,926	107,581
営業外収益		
受取利息	93	937
受取配当金	3,834	4,613
売電収入	364	118
貸倒引当金戻入額	110	10
作業くず売却益	818	454
その他	595	412
営業外収益合計	5,817	6,545
営業外費用		
株式報酬費用消滅損	4,430	-
営業外費用合計	4,430	-
経常利益	175,313	114,127
特別損失		
固定資産除却損	0	902
特別損失合計	0	902
税引前四半期純利益	175,313	113,224
法人税、住民税及び事業税	70,520	57,563
法人税等調整額	△15,033	△22,443
法人税等合計	55,487	35,120
四半期純利益	119,826	78,104

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	175,313	113,224
減価償却費	78,588	73,175
長期前払費用償却額	40	608
株式報酬費用	52,094	59,201
有形固定資産除却損	0	902
株式報酬費用消滅損	4,430	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△114	△10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,580	△4,100
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,439	△3,757
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6,580	△137,440
受取利息及び受取配当金	△3,928	△5,550
売上債権の増減額 (△は増加)	22,980	16,694
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,348	△13,497
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,022	△300
未払金の増減額 (△は減少)	△7,322	△15,572
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	139,670
その他	15,589	4,669
小計	319,580	227,916
利息及び配当金の受取額	3,873	4,653
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△105,837	△49,273
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,615	183,296
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△30	600,203
投資有価証券の取得による支出	—	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△14,825	△49,715
無形固定資産の取得による支出	—	△1,990
その他	108	△959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,747	47,539
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△23
配当金の支払額	△500,690	△499,295
リース債務の返済による支出	△452	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501,142	△499,771
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△298,274	△268,935
現金及び現金同等物の期首残高	1,127,547	975,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	829,273	706,753

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年9月24日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	501,154	100	2022年6月30日	2022年9月27日

当第2四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年9月23日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	500,554	100	2023年6月30日	2023年9月26日

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

前第2四半期累計期間(自2022年7月1日 至2022年12月31日)

譲渡制限付株式報酬の付与対象者の退職に伴い、譲渡制限付株式割当契約に基づき割り当てた当社普通株式4,000株の全てを当社が無償取得したことにより、前払費用計上していた、該当者契約期間の未経過分を株式報酬費用消滅損で営業外費用計上しております。

(四半期損益計算書関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I. 前第2四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	615,078	272,354	8,117	895,550	—	895,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	615,078	272,354	8,117	895,550	—	895,550
セグメント利益	271,848	44,923	1,364	318,136	△144,209	173,926

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△4,292千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II. 当第2四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	562,264	240,905	5,832	809,002	—	809,002
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	562,264	240,905	5,832	809,002	—	809,002
セグメント利益又は損失(△)	227,076	38,874	△9,072	256,878	△149,297	107,581

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

報告セグメント毎の業績をより適切に評価管理するため、第1四半期会計期間より共通費の配賦方法を一部見直し、各セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報を、変更後の共通費の配賦方法により作成することが実務上困難なため、変更前の共通費の配賦方法により開示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具 の再研磨	小計		
工具製作	615,078	77,088	—	77,088	8,117	700,284
その他	—	—	195,266	195,266	—	195,266
顧客との契約から生じる 収益	615,078	77,088	195,266	272,354	8,117	895,550
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	615,078	77,088	195,266	272,354	8,117	895,550

当第2四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具 の再研磨	小計		
工具製作	562,264	71,880	—	71,880	5,832	639,976
その他	—	—	169,025	169,025	—	169,025
顧客との契約から生じる 収益	562,264	71,880	169,025	240,905	5,832	809,002
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	562,264	71,880	169,025	240,905	5,832	809,002